



夏季死亡災害ゼロ101日運動通信

【運動期間：令和8年6月1日～令和8年9月9日】

令和8年
8月号

I 要警戒！熱中症による救急搬送が増加しています！

- ◆ 7月に入り、真夏日(30℃以上)や猛暑日(35℃以上)に迫る日も増えてきています。このような中、熱中症とみられる症状により医療機関に救急搬送されるケースが非常に増えています。



※数値は盛岡地区広域消防組合消防本部HPより引用しています。

労働災害以外も含んだ数値ですのでご注意ください。

<https://www.morioka-fire.jp/heatstroke/>

※4～6月については確定値、7月については16日時点の速報値になります。

- ◆ 特にご注意いただきたいのが、**お盆休みなどの長期休暇明け**です。それまでに獲得していた暑熱順化(暑さへの慣れ)がリセットされてしまうことに加え、帰省や移動による疲れも相まって、熱中症リスクが高い状態です。**作業時間の短縮、休憩時間・回数の増加、作業負担の軽減**など、暑さに慣れるまでは配慮をお願いいたします。

職場における熱中症予防情報サイト



II 蜂刺されによる災害にご注意ください

- ◆ 夏季に熱中症と並んでご注意いただきたいのが、「**蜂刺され**」です。草が繁茂し、草刈りが必要な時期が、蜂の巣がもっとも発達し、蜂の数が多く危険です。
- ◆ スズメバチは、**黒い物**に激しく反応し、攻撃を加えるため、衣服の色や長靴、カメラ等には注意が必要です。その他、蜂はヘアスプレー、ヘアトニック、香水等の化粧品や、ジュースや飲料水の残りなどの匂いに反応し、近寄ってきます。
- ◆ 蜂刺され災害防止のため、事前に作業場所の**蜂の有無を確認**、防蜂網など**適切な保護具**の備え付け、**救急用品**や**自己注射器(エピペン)**、**毒吸引器(ポイズンリムーバー)**の携行、**安全衛生教育**の実施や**緊急連絡体制の整備**に取り組んでいただきますよう、お願いいたします。



林業・木材製造業
労働災害防止協会
蜂に注意



盛岡監督署からのお知らせ
各種パンフレット・リーフレット
蜂刺されによる労働災害防止対策の徹底について



Ⅲ 電子申請ご利用時におけるよくあるお問い合わせについて

- ◆ 令和7年より、労働安全衛生関係の一部の手続について、電子申請が原則義務化となっています。
- ◆ 監督署にも、電子申請に関してお問い合わせをいただくことがあります（例：労働者死傷病報告の略図が添付できない、電子公文書の控えがダウンロードできない）。
- ◆ 「労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービス」のHPにて、よくあるご質問をQ&A形式で掲載しております。こちらで解決できるケースもありますので、ぜひご一読いただきますようお願いいたします。



労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービス



Ⅳ 外国語対応の技能講習を実施している登録教習機関について

- ◆ 一定の危険・有害な業務に労働者を就かせるときは、事業者は、その業務に関する安全または衛生に関する特別の教育を行わなければなりません。また、特に危険・有害な業務については、免許や技能講習など必要な資格を有する者でなければ、その業務に就くことが禁止されています。
- ◆ 技能実習生などの外国人労働者についても、当該業務に就かせるには必要な資格を取得させる必要があります。
- ◆ 厚生労働省や（一社）全国登録教習機関協会のHPでは、外国語対応の登録教習機関を掲載していますので、ご参考ください。

※講習スケジュールや開催基準など、詳細は各講習機関にお問い合わせください。



（一社）全国登録教習機関協会HP

厚生労働省HP



Ⅴ 【建設業向け】高度安全機械等導入支援補助金のご案内



建設業労働災害防止協会HP



Ⅵ 【医療機関向け】放射線被ばく管理に関する労働安全衛生MS導入支援・普及事業のご案内



特設サイト



Ⅶ 令和8年の労働災害発生状況について(6月末時点)

- ◆ 一関監督署管内で令和8年に発生した休業4日以上死傷者数(新型コロナウイルス感染症を除く)は、55人となり、前年同期比で減少(-16人、-22.5%)となっています。
- ◆ 業種別では製造業が12人(-10人、-45.5%)と最も多く、次いで小売業が8人(+2人、+33.3%)となっています。事故の型別では転倒が23人(-3人)が最も多く、次いではさまれ、巻き込まれが8人となっています。

★労働災害事例(6月把握分の一部)

■【小売業】《転倒》

出勤後、小走り移動していたところ、右足を滑らせ転倒。

■【道路貨物運送業】《はさまれ、巻き込まれ》

トラックに荷を積むため、テールゲートリフターを操作していたところ、ゲートとトラック荷台の間に右足を挟んだ。